

年 頭 所 感

令和5年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご厚誼に心より御礼申し上げます。

昨年は、ウクライナ紛争などを背景に世界経済の先行き不透明感が増すだけでなく、新型コロナウイルスが変異を重ね、世界各地で感染爆発と収束を繰り返すなど、慎重な姿勢が引き続き求められる一年となりました。

このような環境のもと、弊社は昨年6月29日に業務執行体制を刷新し、取引所運営基盤の充実・強化を図るとともに、貴金属先物取引の開始に向けた業務を進めてまいりました。そして同年9月16日、農林水産大臣・経済産業大臣に貴金属市場開設の認可申請をするに至りました。これもひとえに農林水産省、経済産業省、取引参加者、株主など関係各位のご支援・ご尽力の賜物と感謝しております。

本年は、弊社にとって、世界の先物取引発祥の地である大阪・堂島の歴史と伝統を受け継ぐべく、高い緊張感と使命感を持ちながら、商品先物取引におけるメインプラットフォームを目指すための大切な年と認識しております。

認可が得られれば、弊社では本年3月下旬に貴金属市場が開設される予定です。国内外の取引参加者にとって魅力ある市場とすべく、市場開設当初に定めた取引仕様に加え、取引単位の大規模化、限月制・現物決済の導入など市場参加者のニーズを踏まえた追加施策の実施を前向きに検討するほか、市場の流動性向上などを狙い、取引参加者の拡大に努める所存です。

また、弊社の主要市場である農産物・砂糖市場の活性化と、コメ先物市場の再開に向けた動きは、弊社の重要課題と位置付けております。取引参加者に加え、生産・流通事業者のニーズ把握などを通じ、実現可能性を高めていきたいと考えております。

そして、国際金融都市構想を提唱する大阪に本拠を置く取引所として、国内だけでなく海外市場参加者のニーズにも応えるべく、温室効果ガス排出量など新しい商品の導入など各種施策を盛り込んだ事業計画の再策定にも取り組む所存です。

こうした取り組みを成功させるため、弊社は、商品先物取引法に基づく認可を受けた取引所として、取り組むべき課題に正面から向き合い、関係各位と親密かつ真摯な意思疎通・意見交換をさせていただきながら、役職員一同努力を続ける所存でございます。

結びに、本年が皆様方に取りまして幸多い年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 元旦
株式会社 堂島取引所
代表取締役社長 村田雅志